

提示用大型モニターを活用した児童の活動の振り返り

～はんでのあそびのかだいを話し合っ、〇〇作せんを考えよう～

取組の 難易度	(準備) ★ ★ ☆		
	(教員の I C T 活用能力) ★ ★ ☆		
校種・学年	小学校・2 学年		教科等 生活
ICT を活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示		領域・ 分野等 内容 (1) 学校と生活 内容 (8) 生活や出来事の伝え合い 内容 (9) 自分の成長
ICT 機器等の 準備等	準備	ビデオカメラまたは学習者用 P C (録画ができるもの)、三脚等	
	授業	①提示用大型モニター ②学習者用 P C (映像を再生できるもの)	

1 事例の概要

1 年生とあそぼう会での班活動の様子を、映像で振り返ることで、成功したこと、難しかったことなどを想起させる。遊びの様子だけでなく、1 年生に声かけをしている様子や、うまくいわずに困っている様子などを視聴することで、生の感情や情景、思考を鮮明に想起させ、第 2 回の遊びの成功に向けて、どのような準備をすればよいのかを話し合う。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

- 班での遊びの様子を、映像として記録に残すことにより、児童自身が自分の成長と課題を振り返ることができるとともに、教師が指導と評価に活かすことができる。
- 小学校低学年という発達段階においても、自分の行動や発言を客観視することができる。
- 複数の教員が、持ち場を分担して児童の学びを撮影することで、児童の様子を逃さず撮影することができる。また、事前に撮影場面を打ち合わせておくことで、編集の手間を省く。

3 資料

1 活動の様子を、ビデオカメラ等で記録する

班での遊びの様子を、複数の教員と分担しながら、保護者の許諾を得た上で、映像として記録に残す。

特に、遊びの中で、楽しんでいる様子、困っている様子、最後に振り返りを行っている様子を撮影し、児童の表情や声を、事後の活動に活かせるようにする。

動画の編集の手間をなるべく省けるよう、こまめに停止と録画を行い、チャプターを区切っておくとい。また、複数台の学習者用 P C で撮影すると、そのまま班での振り返りに活用できる。



2 動画を視聴し、遊びの様子を振り返る場面



○クラス全体で振り返るメリット
困りごとや、改善点が見えやすい。(共通に見られる。) 教師の指導を入れやすい。

○班ごとに学習者用PCで振り返るメリット
同じ場面を繰り返し見られる。
より多くの場面を検証できる。

班ごとの遊びの様子を順に再生し、楽しんでいる様子や困っている様子を、児童の表情や声に着目して視聴させる。再生を一時停止し、そのときの様子や児童のつぶやきを教師が取り上げ、課題意識を持たせる。

3 遊びの中での困りごとをどのように解決するか、グループで話し合う場面



映像を視聴し、想起した困りごとについて、どのように遊びを工夫するのか、どのように1年生に接するのかを話し合う。話し合っただけ決めた作戦を付箋に書き、班の遊びの写真に貼る。他の班へのアドバイスも、積極的に貼らせるようにする。

4 1年生の振り返りカードを読み合う場面



遊びの当日に1年生が書いた振り返りカードを、班で読み合うことで、具体的に相手意識と目的意識を持たせるようにする。そして、2回目の成功に向けての意欲付けを行う。